

令和6年度 事業計画書

公益社団法人 岩出市シルバー人材センター

1. 基本方針と重点目標

少子高齢化の進展に伴い、将来に必要な労働力人口が減少することが懸念されるなかで、地域の高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢に関わりなく活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっています。

このような中、シルバー事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる社会の期待は一層大きなものになっており、こうした現状を踏まえ当センターでは、地域の高齢者が就業を通じて社会貢献できるよう、“人生 100 年時代はシルバーから！”を合言葉に各種事業を積極的に推進してまいります。

[重点目標]

- I 時代や地域ニーズを踏まえながら、請負、委任に基づく事業及び派遣事業の拡大を図り、会員の就業機会の確保に努めます。
- II 会員の維持拡大とシルバー事業の普及啓発活動に取り組みます。
- III 安全・適正就業の推進に努めます。

2. 事業実施計画

(1) 受託事業の拡大

公共機関、民間双方において、高齢者に馴染み、安定就業につながる仕事の受注と開拓に努め、会員の就業機会の確保と提供に積極的に取り組んでいきます。

- ① 事業所・企業等への新規開拓や同一事業所内での受託業務の職域拡大
- ② 岩出市役所他公共機関との連携
- ③ 事務局体制の充実強化

(2) 会員の維持拡大と普及啓発活動の展開

事業発展の原動力は会員確保にあり、女性や企業退職者等への普及啓発を推進するなど、健康で働く意欲のある高齢者の加入促進や福利厚生事業を充実し、会員の維持拡大に積極的に取り組んでいきます。

- ① チラシ、パンフレット、ポスター等やホームページによる広報啓発
- ② 「1会員1人紹介運動」の推進

- ③ 広報「シルバーいわで」によるPR－7月・1月（年2回発行）
- ④ 岩出市広報紙「広報いわで」への募集広告掲載
- ⑤ イベント時のPRなど多様な手段による幅広い市民への広報・宣伝
- ⑥ 新入会員への説明会開催（原則月1回＋臨時）や随時の相談対応
- ⑦ 役員及び会員へのポイント付与制度の推進
- ⑧ 地域貢献活動（ボランティア）の取組との協力連携による普及・啓発

（3）研修会・講習会等の開催、参加

会員の就業に必要な知識や技術習得のため、講習会や研修会を開催するとともに、関係機関による研修会等にも積極的に参加します。

- ① 会員の健康管理、交通安全等一般研修の開催
- ② 職群別の技能講習等の開催
- ③ シルバー人材センター連合会主催の各種講習会への参画
- ④ 県、市他関係機関主催の研修会等への参加

（4）安全・適正就業の徹底

会員の安全確保は最重要課題であり、「安全は無理せず・焦らず・油断せず」を基本に取り組むとともに、事故防止への意識高揚や夏場の熱中症対策などへの理解を深め、安全・適正就業を徹底します。

- ① 安全・適正就業講習会、研修会の開催
- ② 安全・適正就業に関する情報提供（事件事例、改善事例等）
- ③ 安全・適正就業委員による就業現場への巡回
- ④ 各種大会（安全就業関係）、研修会等への参加
- ⑤ 就業時の服装、必要備品の整備及び装備
- ⑥ 長期就業の是正とワークシェアリング（仕事の分か合い）の推進

（5）デジタル化への対応

シルバー事業においても、事業の効率的な運営を図るため全国的にデジタル化が進展しており、そのような流れに対応するためには、会員がデジタル機器操作に馴染むことが欠かせないため、スマホ・PC講習会の実施や相談対応を行うなど、会員のデジタル利用を支援していきます。

（6）健康、福利厚生事業の推進

会員の健康管理は安全就業の基本であり、自主管理に努力するよう啓発します。また、会員に対する福利厚生事業の充実に取り組みます。

- ① 親睦旅行の実施
- ② フレンドリーショップ事業の会員への周知及び店舗の拡充

- ③ 定期的な健康診断受診の促進
- ④ 趣味や健康づくりなどの自主活動の場の充実支援

(7) 子育て支援事業の充実

岩出市シルバー人材センター設立以来、市の委託を受け取り組んでいる学童保育事業は、現役世代を支えるとともに幅広く就業機会を提供するうえで重要な事業であり、令和6年度活動計画に基づき積極的な推進を図ります。

- ① 子どもたちの自主的な活動充実のため、子ども会議の実施や子どもが楽しめるクリスマス会など年間行事を充実
- ② 公的機関主催の研修会への参加や独自研修による指導員の資質向上
- ③ 避難訓練や不審者対応訓練の実施や日常的な点検など安全対策を強化
- ④ 統括マネージャーによる各ホープの巡回指導など保育体制を強化

(8) 諸会議等の開催

- ① 定時総会 年1回 5月
- ② 理事会 原則として月1回開催
- ③ 諸会議の開催
 - 総務委員会 ○広報委員会 ○福利厚生委員会
 - 安全・適正就業委員会

定例委員会	4・6・8・10・12・2 /月
就業現場巡回	必要に応じて随時対応する。
安全講習会	

(9) 関係機関との連携強化

インボイス制度や新たな契約制度への対応など、シルバーを取り巻く状況変化に円滑に対応するため、和歌山県シルバー人材センター連合会など関係機関との連携強化を図り、必要な情報の収集・提供に努めます。

(10) 事業達成目標

会員数や就業延べ人員の拡大に努め、令和6年度の契約額について前年度比105%の達成に向けて精力的に取り組めます。